

# B型肝炎ワクチンを受けましょう

B型肝炎ワクチンは世界中のほとんどの国で生まれて初めて接種するワクチンです。1992年にWHO（世界保健機構）は全ての国にB型肝炎ワクチンを定期接種化するように勧告しました。その結果2006年の時点で世界193か国中162か国で定期接種のワクチンになっています。

残念ながら日本ではまだB型肝炎の定期接種化は実現していませんが、最近ではB型肝炎ワクチンの必要性が広まりつつあり、小さいお子さんを中心に接種希望者が増えてきています。

## B型肝炎ウイルスにはどうやって感染するの？

B型肝炎の患者またはキャリア（ウイルスの持続感染者）の血液やその他の体液が原因になります。WHOでは以下の4つを主な経路としています。

- ① お母さんから赤ちゃんへ
- ② 子ども同士の濃厚な接触（かみつきなど）
- ③ 輸血や不適当な注射針の使用
- ④ 性行為

※②に関しては日本国内でも2002年に保育所で25名の集団感染の報告があります。

## 日本でもB型肝炎ウイルスには感染しやすいの？

1年間にB型肝炎にかかる人数は約2000～2500人と言われています。ただし、実際は不顕性感染（感染していても症状が出ないこと）も多いため年間1万人程度が感染していると予想されています。症状がなく、本人も気づかないうちにキャリアになっている場合もあります。そのため知らないうちに周囲にB型肝炎ウイルスをうつしてしまうこともあるのです。

おとなが感染した場合キャリアになることは少ないとされていますが、こどもたち（特に1歳未満）は非常に高い割合でキャリアになってしまいます。

## いつワクチンを接種すればいいの？

- 年齢が小さいほどキャリアになりやすい（1歳未満は90%くらい）ため、できるだけ早い時期に接種しましょう。生まれてすぐから接種できますが、1ヶ月健診のときや、ヒブ・肺炎球菌と一緒にスタートするとよいでしょう。
- 現在保育園や幼稚園に行っているお子さんでも、日本はキャリアの割合が高い国ではないので、すでにB型肝炎に感染している可能性は低いと考えられます。したがって子どもたちの場合いつでも接種を開始してよいでしょう。

B型肝炎のウイルスにはいくつかのタイプがあり、最近日本でもキャリア化しやすいタイプのウイルスに感染するひとが増えていきます。キャリアのうち10-20%が将来的に肝硬変、肝臓ガンになるため可能な限りワクチンで予防しましょう。

大野 貴美子



おおの きみこ

大野 貴美子

聖マリアンナ医科大学卒

日本小児科学会認定専門医

自由が丘メディカルプラザ 小児科

<http://www.jiyugaokamp.com/s>

TEL : 03-5731-3565

